

## 本書の特色

この本は、夏休み前までの学習内容を中心に構成されたテキストです。標準的な問題を中心に編集しましたので、今までに学習したことがらの基本を身につけるのにぴったりです。

各課の基本構成は最初の1ページで重要なポイントをおさえ、2ページ目の確認問題で知識を、3～4ページ目の演習問題で実力を定着させる…という流れになっています。また、1課に1枚の別冊確認テストがついています。各課の理解度チェックに役立ててください。

講習準備テストと総合確認テストは、苦手分野の把握や最後の効果測定に利用することができます。

## 本書の使い方

- **要点整理**…その課でしっかりと身につけたいことがらをまとめてあります。
- **確認問題**…要点整理で学習した内容を確認するための問題です。
- **演習問題**…前ページで学習した内容をもう一度確認し、応用力をつけるための問題です。ここで完全に自分のものにしてください。
- **総合問題**…本書で学習した内容が身についたかどうかを確かめる問題です。全部正解できるようにがんばりましょう。

## もくじ

## 社会中2

1	世界のさまざまな地域	2
2	身近な地域の調査, 日本の自然環境	6
3	日本の人口, 日本の資源・エネルギーと農林水産業	10
4	日本の工業・商業・サービス業, 世界と日本の結びつき	14
5	古代・中世の日本	18
6	ヨーロッパの進出と全国統一	22
7	江戸幕府の成立と鎖国	26
8	幕府政治の動き, 産業の発達と社会の変化	30
	総合問題 ①	34
	総合問題 ②	36
	記述・作図コーナー	38

# 2

# 身近な地域の調査, 日本の自然環境

## 1 身近な地域の調査

- (1) 地形図…国土地理院が発行。
- (2) 縮尺…実際の距離を, 地形図上に合わせて縮めた割合。
  - 地図上の長さ × 縮尺の分母 = 実際の距離
- (3) 方位…4方位, 8方位など。方位記号がないときは, 上が北。
- (4) 地図記号…土地利用や建物, 施設, 道路などを表した記号。
- (5) 等高線…海面から見た高さが等しい地点を結んだ線。間隔が狭いところは傾斜が急。間隔が広いところは傾斜が緩やか。

## 2 日本の自然環境

- (1) 世界の地形…世界の造山帯には環太平洋造山帯, アルプス・ヒマラヤ造山帯がある。造山帯やその周辺では, 地震や火山の噴火が多い。
- (2) 日本の地形…国土の約4分の3が山地。
  - ① 山地…本州の中央部に日本アルプス(飛騨・木曾・赤石山脈)。東日本と西日本を分けるフォッサマグナ。
  - ② 川…長さは短く, 流れは急で, 流域面積は狭い。
  - ③ 平地…山地から平地にかけて扇状地, 河口には三角州ができる。海に面した平野, 山に囲まれた盆地がある。
  - ④ 海岸…岩石海岸と砂浜海岸。湾と岬が続くリアス海岸。
  - ⑤ 周りの海…水深200mまでの浅い大陸棚, 深さが8000mを越える海溝。太平洋側の沖合では暖流の黒潮[日本海流]と寒流の親潮[千島海流]がぶつかり, 潮目ができる。

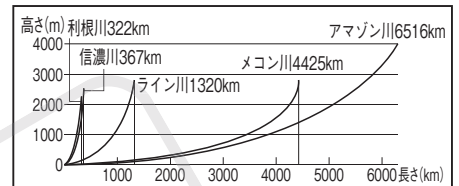
- (3) 気候…大部分は温帯に属し, 夏は南東, 冬は北西の季節風[モンスーン]の影響。梅雨や台風で雨が多い。
  - ① 北海道の気候…冷帯[亜寒帯]。梅雨がなく, 年間の降水量が少ない。夏は涼しく, 冬の寒さが厳しい。
  - ② 太平洋側の気候…夏に雨が多く, 冬は晴れが多い。
  - ③ 日本海側の気候…季節風の影響で冬に雪が多い。
  - ④ 中央高地の気候…降水量が少なく, 気温が低い。
  - ⑤ 瀬戸内の気候…降水量が少なく, 夏に干ばつがおりやすいため, ため池が造られてきた。

- ⑥ 南西諸島の気候…亜熱帯。1年を通して降水量が多く, 冬でも温暖。
- (4) 自然災害と防災・減災への取り組み。
  - ① 地震による津波・土砂くずれ・液状化現象。東日本大震災のようにさまざまな災害を引きおこす。
  - ② 火山の噴火による火山灰・火山れき, 火砕流。
  - ③ 豪雨による洪水・土石流。台風による風水害・高潮。
  - ④ やませや濃霧による冷害, 雨が少ない年に干害など。
  - 防災計画として防災マップ[ハザードマップ]の作成。

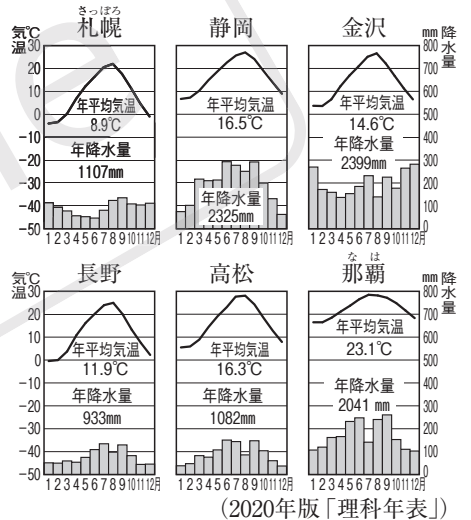
### ▼おもな地図記号

田(水田)	警察署	病院
畑	消防署	神社
果樹園	郵便局	寺院
くわ畑	工場	三角点
茶畑	発電所・変電所	水準点

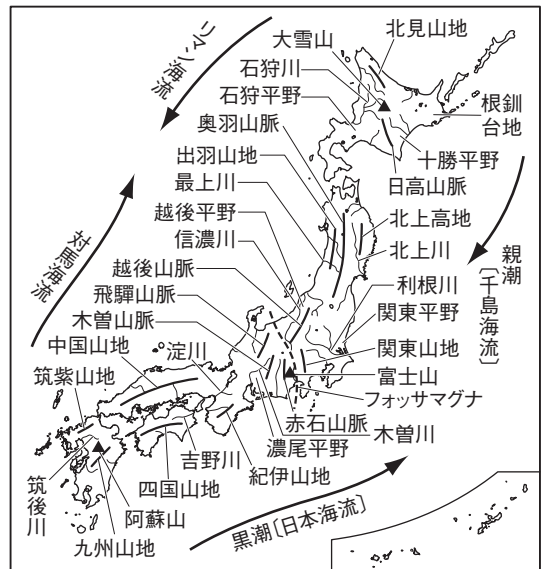
### ▼日本と世界の川の比較



### ▼日本各地の雨温図



### ▼日本の地形と海流

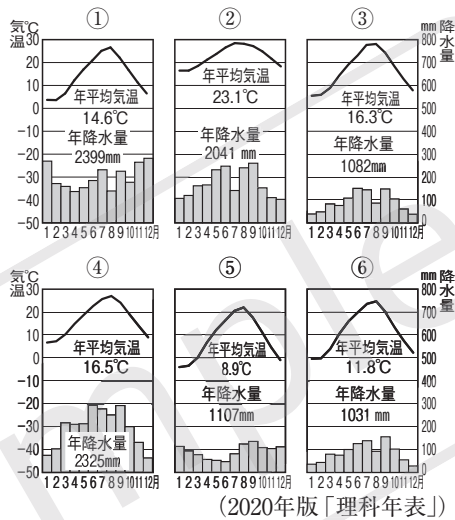
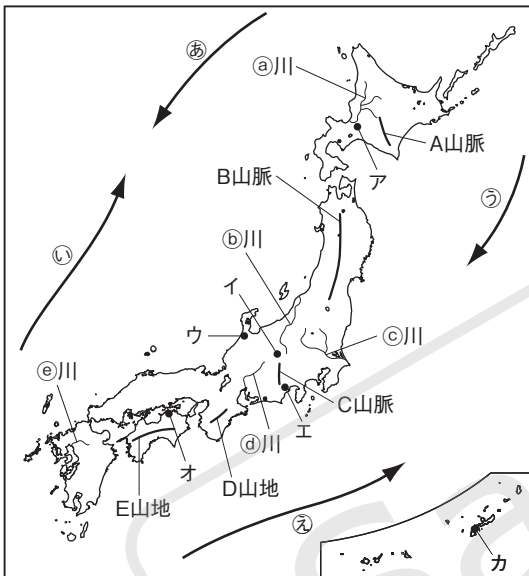


# 確認問題

① 次の( )にあてはまる語句や数字を答えなさい。

- (1) 地形図は( )が発行している。
- (2) 実際の距離を, 地図に合わせて縮めた割合を( )という。
- (3) 地図上に方位記号がない場合は, 上が( )を表す。
- (4) ☀️ は( )を表す地図記号である。
- (5) 海面から見た高さが等しい地点を結んだ線を( )という。

② 次の地図中のA~Eの山地・山脈名, ①~⑥の河川名, あ~えの海流名を答えなさい。また, ①~⑥のグラフにあてはまる都市を, 地図中のア~カから1つずつ選び, 記号で答えなさい。



①

- (1) .....
- (2) .....
- (3) .....
- (4) .....
- (5) .....

②

- A ..... 山脈
- B ..... 山脈
- C ..... 山脈
- D ..... 山地
- E ..... 山地
- ① ..... 川
- ② ..... 川
- ③ ..... 川
- ④ ..... 川
- ⑤ ..... 川
- ⑥ ..... 川
- あ ..... 川
- い ..... 川
- う ..... 川
- え ..... 川

③ 次の各問いに答えなさい。

- (1) 世界に2つある造山帯のうち, 日本列島が属している造山帯を何というか。
- (2) 日本の中央部に連なる, 飛騨・木曾・赤石山脈をあわせて何というか。
- (3) 川が山地から平地に出るところに土砂が堆積してできた地形を何というか。
- (4) 河口に土砂が堆積してできた地形を何というか。
- (5) 谷だったところに海水が入りこんでできた, 出入りの複雑な海岸を何というか。
- (6) 日本のまわりに広がる, 水深200mまでの平たんな海底を何というか。

③

- (1) ..... 造山帯
- (2) .....
- (3) .....
- (4) .....
- (5) .....
- (6) .....

④ 次の各問いに答えなさい。

- (1) 東日本と西日本を分ける地質学上の境目を何というか。
- (2) 暖流の黒潮と寒流の親潮とがぶつかる境目を何というか。
- (3) 日本の気候に影響をあたえる, 夏は南東・冬は北西方向から吹く風を何というか。
- (4) 日本の大部分が属する気候帯を何というか。
- (5) 自然災害による被害を予測し, 地図に表したものを何というか。

④

- (1) .....
- (2) .....
- (3) .....
- (4) .....
- (5) .....

# 演習問題 A

1 身近な地域の調査 右の地形図を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) 右の地形図から読み取れることを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 京戸川は東から西に流れている。
- イ 蜂城山の山頂に寺院がある。
- ウ 京戸川周辺では稲作が行われている。
- エ 釈迦堂PAの近くに図書館がある。

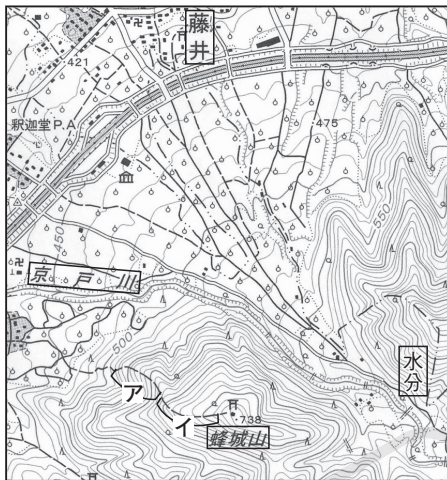
□(2) 右の地形図の縮尺を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 5千分の1
- イ 1万分の1
- ウ 2万5千分の1
- エ 5万分の1

□(3) 「蜂城山」に登るとき、アの区間とイの区間では、どちらの方が傾斜が緩やかか。

□(4) 右の地形図に見られる、川が山地から平地に流れ出るところにできる地形を何というか。

□(5) 地形図中の「水分」から「藤井」まで地図上で約5cmである。実際の距離は何mか。



(国土地理院発行 地形図「石和」)

1

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	m

2 日本の自然環境 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本は a 造山帯の一部であるため、火山の活動が活発で b 地震も多い。国土の大部分は山地と丘陵地で c 標高の高い山が連なり、d 平地は約4分の1にすぎない。e 海岸線は複雑である。

日本の気候は海流と季節風の影響を受けて、日本海側と太平洋側では大きく異なる。また、瀬戸内地方は干ばつ〔干害〕がおこることがある。

□(1) 下線部 a について、日本列島と同じ造山帯に属している山脈を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア アルプス山脈      イ アンデス山脈
- ウ ヒマラヤ山脈      エ ウラル山脈

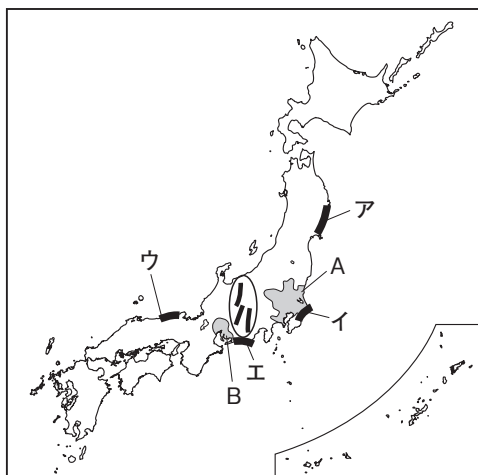
□(2) 下線部 b のとき、沿岸部でおこりやすい災害は何か。

□(3) 下線部 c のうち、右の地図中に○で示した日本アルプスに含まれない山脈を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 赤石山脈      イ 飛騨山脈
- ウ 越後山脈      エ 木曾山脈

□(4) 下線部 d のうち、地図中の A・B の平野をそれぞれ何というか。

□(5) 下線部 e について、リアス海岸が見られる地域を、地図中のア～エから1つ選び、記号で答えよ。



2

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	A      平野
	B      平野
(5)	



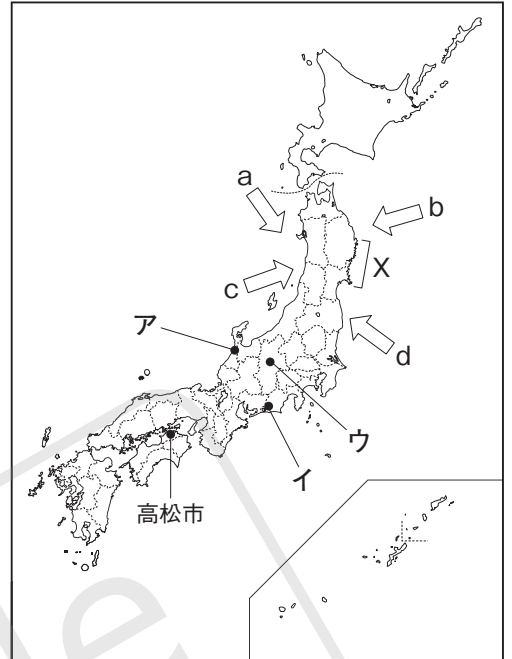
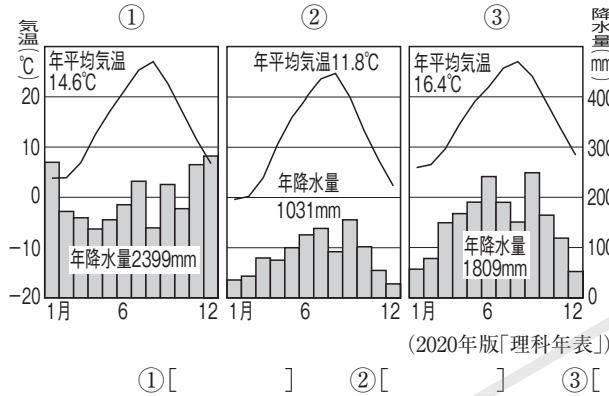
# 演習問題 B

1 右の地図を見て, 次の問いに答えなさい。

⇒ 1・2

□(1) 地図中のXの地域に見られる, 谷に海水が入り込んでできた複雑な海岸を何というか。 [ ]海岸

□(2) 次のグラフは, 地図中のア~ウの都市の気温と降水量を示している。①~③にあてはまる都市を, ア~ウから1つずつ選び, 記号で答えよ。



(3) 地図中の高松市について, 次の①~③の問いに答えよ。

資料 I

□① **記述** 右の資料 I は, 高松市北部の地形図を示している。地形図中に人工的な池が見られる理由を, 資料 II の気候の特徴にふれて, 簡単に書け。



(国土地理院 1 : 25000 「高松北部」より作成)

[ ]

□② 地形図中のやしま駅から小学校までの道のりは, 地図上でおよそ 3 cm である。実際の道のりはおよそ何 km か。

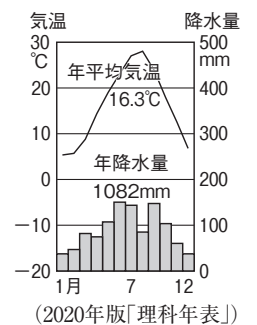
[ ] km

□③ 地形図から読み取れることを, 次のア~エから 1 つ選び, 記号で答えよ。

[ ]

- ア 老人ホームは, やしま駅から見て南西に位置している。
- イ 地形図の東側では, 果樹栽培や稲作が行われている。
- ウ やしま駅周辺では畑作が行われている。
- エ 車礼町より高松町の方が高地に位置している。

資料 II 高松市の雨温図



□(4) 右の資料 III は, 東北地方の米の作況指数(10a 当たりの収量と 10a 当たりの平均収量の比率)を示している。2003 年の指数は大きく下降しているが, これはこの年にやませとよばれる冷たく湿った風の影響で, 稲が十分に育たなかったためである。このやませの吹き方として正しいものを, 資料 III を参考にして, 地図中の a~d から 1 つ選び, 記号で答えよ。

[ ]

資料 III 米の作況指数

